



三重県の文化財保護

—昭和61年度—

1987. 3

三重県教育委員会

例 言

1. 本書は、三重県教育委員会が昭和61年度に実施した指定文化財等の保護事業を中心にまとめたものである。
2. 国指定史跡齋宮跡及び埋蔵文化財の保護事業については、それぞれ年報を刊行しているので参照されたい。
3. 文化財指定のうち、3. 市町村新指定の文化財、4. 市町村指定解除の文化財と、文化財愛護地域活動のうち、2. 文化財愛護強調週間(市町村)、3. 文化財防火デー行事については、市町村教育委員会からの報告をまとめたものである。
4. 文化財パトロール事業は、P 5 の調査員が昭和61年度内に巡視点検を行なった指定文化財の現況報告によるものである。
5. 資料1～4は、三重県文化財保護審議委員の指定調査の報告書によるものである。

目 次

I. 文化財の緊急調査	IV. 国指定文化財の保護
1. 歴史の道調査—東海道—…………… 1	1. 保存修理…………… 8
II. 文化財の指定	2. 指定文化財管理…………… 8
1. 県新指定の文化財…………… 2	3. 防災施設…………… 8
2. 県指定解除の文化財…………… 2	4. 無形文化財の伝承・記録保存… 8
3. 市町村新指定の文化財…………… 2	5. 天然記念物カモシカ保護…………… 9
4. 市町村指定解除の文化財…………… 5	6. 天然記念物保護増殖…………… 9
III. 文化財パトロール事業	V. 県指定文化財の保護
1. 事業の概要…………… 6	1. 保存修理…………… 10
2. 巡視報告…………… 6	VI. 文化財愛護地域活動
資料 1. 「木造地藏菩薩立像」	1. 文化財愛護推進方策研究…………… 10
調査報告…………… 26	2. 文化財愛護強調週間行事…………… 13
2. 「六地藏石幢」調査報告…………… 27	3. 文化財防火デー行事…………… 18
3. 「伊奈富神社棟札」調査報告… 28	4. 文化財講習会…………… 25
4. 「大淀村二天八王子社神事	
当番帳」調査報告…………… 31	

I 文化財の緊急調査

1. 歴史の道調査—東海道—(国庫補助事業)

古くから文物や人々の交流の舞台となってきた道・河川などの交通路は、わが県土の歴史を知る上できわめて重要な意味をもってきた。

ところが、ここ数年来の道路改良事業、各種基盤整備事業等によって、古道をはじめとする交通関係遺跡は急激に改変あるいは失なわれつつある。そのため、「歴史の道」ともいうべき江戸時代以前の古道及び関連遺跡を周囲の環境を含めて、総合的かつ体系的に現状把握及び調査をし、県民が歴史に親しみ、県土の成り立ちをふりかえる一助にしようとするものであり、優れた関連遺跡等についての保護措置を講ずるための基礎資料を作成するものである。

(調査の範囲)

桑名(七里の渡し)——朝日——四日市——鈴鹿——亀山——関(鈴鹿峠) 約45km

(調査の内容)

- (1) ○一里塚、宿場、茶屋、並木、石畳、常夜燈、道標、地藏、井戸、渡船場等の遺跡
○社寺、札所、霊場等の歴史的名所及び庭園等の名勝
○街道に関する古文書、絵図等
- (2) 家並み、街道及び関連遺跡等の古写真
- (3) 街道の歴史的意義

(調査の期間)

昭和61年4月1日～昭和62年3月31日

(調査指導)

樋田 清砂 県文化財保護審議会委員 (総括指導)
平松 令三 同上・竜谷大学教授 (文化財)
仲見 秀雄 県文化財保護審議会委員 (史跡)
藤本 利治 皇学館大学教授 (歴史地理)

(調査担当)

西羽 晃 桑名市文化財保護審議会委員 (桑名市)
水谷 康德 川越町立川越北小学校 (朝日町)
山本 正明 四日市市教育委員会 (四日市市)
増田 武夫 四日市市郷土史研究会 (四日市市)
古市音一郎 中部地区ふるさと研究会 (四日市市)
井上 正秀 神戸高等学校 (鈴鹿市)
原 喜一 亀山市文化財専門委員 (亀山市)
藤田 和男 同上 (亀山市)
小倉 久 関町文化財調査委員 (関町)

(関係市町村教育委員会)

桑名市、朝日町、四日市市、鈴鹿市、亀山市、関町

(関係教育事務所)

北勢教育事務所



II 文化財の指定

1. 県新指定の文化財

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者、管理者	指定年月日	
有	彫	木造地藏菩薩立像	1 軀	鎌倉	松阪市新町884	樹敬寺	昭62. 3. 27
	工	六地藏石幢	1 基	室町	多気郡明和町笛川2317	斎宮中町区自治会	"
	古	伊奈富神社棟札	73枚	室町～ 明治	鈴鹿市稲生町9275	伊奈富神社	"
	古	大淀村二天八王子社神 事頭番帳	1 巻	室町	多気郡明和町大淀乙1	竹大与杼神社	"

※資料1～4参照

2. 県指定解除の文化財

該当なし

3. 市町村新指定の文化財

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者、管理者	指定年月日
----	----	----	----	-----	---------	-------

(1) 津市

有	工	銅造水盤	1 基	江戸	津市大門観音寺境内	観音寺(岩鶴光雲)	昭61. 12. 20
---	---	------	-----	----	-----------	-----------	-------------

(2) 伊勢市

有	書典	伏見天皇口宣案	1 帖	鎌倉後半	岩渕1丁目3-11	光明寺	昭61. 7. 3
	彫	木造勢至菩薩立像	1 軀	平安末期	"	"	"
記	天	オヤネザクラ (お屋根桜)			岡本3丁目 (旧豊宮崎文庫内)	伊勢市	"

(3) 松阪市

有	建	甘棠堂	1 棟	江戸	駅部田町1483	石井秀雄	昭59. 4. 20
	彫	木造地藏菩薩立像	1 軀	鎌倉	新町884	樹敬寺(山下法文)	昭60. 3. 30
記	史	角屋七郎兵衛等供養碑 及び松本駄堂墓	2 基	江戸	白粉町512	来迎寺(青木龍孝)	"
	史	大淀三千風墓	1 基	江戸	射和町墓広1241	射和町自治会	"
有	書	大淀三千風関係資料	2 点	江戸	射和町249	延命寺(西川清随)	"
	書	大淀三千風関係資料	23点付手 文庫1点	江戸	射和町210	山本保二・北出せい	" (以上59年度指定)
	彫	木造十一面観音菩薩立 像及び両脇侍像	3 軀	南北朝 ～江戸	下七見町118	安養院(山崎高裕)	昭62. 3. 24
	絵	曾我肅白筆唐人物図	半双	江戸	朝田町427	朝田寺(榎本義栄)	"
	絵	" 布袋図	1 幅	江戸	"	"	"

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者、管理者	指定年月日
----	----	----	----	-----	---------	-------

松阪市つづき

有	絵	曾我肅白筆布袋図	1幅	江戸	朝田町427	朝田寺(榎本義栄)	昭62. 3. 24
	絵	雄鶏図	1幅	江戸	"	"	"
	絵	雁図	1幅	江戸	"	"	"
	絵	千方牛和尚図	1幅	江戸	愛宕町2-63	菅相寺(梅森香月)	"

(4) 桑名市

有	工	縹糸威胴丸具足	1具	江戸	吉之丸9	鎮国守国神社	昭61. 12. 15
	工	緋糸威胴丸具足	1具	江戸	"	"	"
	絵	絹本着色弘法大師像	1幅	室町	下深谷部2386	飛鳥寺	"
民有	桑名藩より御膳水通達書(附)	1通	江戸中期	本町46	桑名中臣神社	"	
有	典	東照宮木像据置件(附)	1通	元和3年	"	"	"
	典	桑名日記、柏崎日記関係文書に「大和藩列記」(追加)	1冊	天保10年	東鍋屋町89	不破正人	" (59年指定に追加)
民有	西船馬町石取祭車	1式	江戸	西船馬町	西船馬自治会	"	

(5) 鈴鹿市

記史	大黒屋光太夫供養碑	1基	江戸	若松東1	若松東墓地運営委員長 (杉本芳夫)	昭62. 3. 27
----	-----------	----	----	------	----------------------	------------

(6) 尾鷲市

記史	木名峠狼煙場跡	3本立 1基	江戸	早田町大木名	早田区	昭61. 9. 29
----	---------	-----------	----	--------	-----	------------

(7) 久居市

有	彫	二十五菩薩像並びに御前立ち阿弥陀如来立像	26軀	江戸	新家町1483	光明寺(丸山政教)	昭62. 4. 1
	彫	阿弥陀如来坐像	1軀	平安	木造町	引接寺(小泉法叶)	"
	彫	地藏菩薩半跏像	1軀	鎌倉	二ノ町	玉淀寺(松尾秀昭)	"
	彫	阿弥陀如来立像	1軀	鎌倉	新町	浄福寺(古池幹雄)	"
	彫	阿弥陀如来坐像	1軀	鎌倉	元町	極楽寺(信藤孝三)	"
	彫	釈迦如来立像	1軀	平安	"	"	"
	彫	地藏菩薩立像	1軀	鎌倉	"	真光寺(藤田智正)	"
	彫	阿弥陀如来坐像	1軀	平安	戸木町	蓮藏寺(山田盛隆)	"
	彫	薬師如来坐像	1軀	平安	庄田町	瑞祥寺(水野正法)	"
	彫	阿弥陀如来立像	1軀	平安	稲葉町	涅槃寺(藤波一融)	"

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者、管理者	指定年月日
----	----	----	----	-----	---------	-------

(8) 長島町

有	彫	杏覆子安延命地藏菩薩	1 軀		西外面2061	近藤 内海	昭61. 6. 30
---	---	------------	-----	--	---------	-------	------------

(9) 安濃町

有	彫	大日如来と四菩薩坐像	5 軀	藤原初期	草生3044	紀平幸石郎	昭61. 12. 10
	彫	阿弥陀如来坐像	1 軀	南北朝期	太田61(区公民館)	太田区	〃
	彫	聖観音立像	1 軀	藤原後期	荒木212-2 称名寺	荒木区	〃

(10) 嬉野町

有	工	鷗尾 I	1 基	白鳳	須賀1443	嬉野町	昭62. 2. 20
	工	鷗尾 II	1 基	白鳳	〃	〃	〃

(11) 阿児町

民	無	甲賀鼓踊		江戸	甲賀	甲賀自治会	昭61. 3. 31
---	---	------	--	----	----	-------	------------

(12) 阿山町

有	建	石造露盤	1	平安後期 鎌倉初期	上友田	川瀬 朗(麿常楽寺)	昭60. 10. 8
	建	石造五輪塔	1 基	室町	榎 山	西 光 寺	〃
	建	石造宝篋印塔	1 基	室町初期	〃	麿 東 福 寺	〃
	建	石造宝篋印塔	1 基	室町初期	〃	西 光 寺	〃
	建	石造宝篋印塔	1 基	南北朝中 期	石 川	穴 石 神 社	〃
	工	石造湯槽	1	鎌倉後期 南北朝初期	中友田	鞆田神社	〃
	工	石造湯槽	1	鎌倉後期	玉 滝	玉滝神社	〃
	彫	木造狛犬	2	江戸初期	石 川	穴 石 神 社	〃
	考	将軍塚遺跡出土品	多数	室町後期	円徳院	阿山町教育委員会	〃
	考	上丸川1号古墳出土品	多数	古墳	〃	〃	〃
	考	上丸川2号古墳出土品	多数	古墳	〃	〃	〃
	考	ステゴドンエレファン トイデス象門歯	1	(昭14年 発掘)	中友田	鞆田小学校	〃
考	硅 化 木	1	(昭24年 発掘)	〃	〃	〃	
記	天	センダンの大木	1	(樹令 120年)	馬 場	河合小学校	〃

(13) 紀伊長島町

記	史	三浦津波碑	1 基	昭和	三 浦	三浦区	昭61. 11. 28
有	工	中桐観音堂罌口	1	江戸	中 桐	谷口 元春	〃

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者、管理者	指定年月日
----	----	----	----	-----	---------	-------

(14) 海山町

有	彫	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉	小山浦	医王山長泉寺	昭61. 5. 28
	彫	木造薬師如来坐像	1 軀	鎌倉	白浦	照溪山常林寺	"
	彫	木造不動明王立像	1 軀	藤原	"	"	"
	彫	木造毘沙門天立像	1 軀	藤原	"	"	"

4. 市町村指定解除の文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者、管理者	解除年月日
----	----	-------	-----	---------	-------

(1) 亀山市

記	天	宮村の松	昭31. 9. 12	下庄町1776	宮村 壽	昭61. 5. 26
---	---	------	------------	---------	------	------------

(2) 阿山町

記	史	五右衛門塚	昭48. 9	石川	石川区	昭61. 10. 8
---	---	-------	--------	----	-----	------------

〔昭和61年度 三重県文化財調査員一覧〕

北勢(10)	伊松片岩大石安桐福	東本岡脇場浦井生田	春雅範儀富定典	夫覚章彰久直剛春己明	松阪(8)	世奥福岡三福西前	古田本井田葛	且義好博哲尚敏	守次昭雅之也史文	上野(10)	市松奥寺福竹中谷前	田山西鹿岡井内山戸川	進謙昭光健英	一治勲二三二雄暁実雄	
	中勢(7)	河浅下本津宮小	合生井堂村崎林	良悦弘善洋和		成生彰之博史彦	南勢志摩(10)	中山村御竹中伊大東江	西崎上村内世藤西尻		健富三郎喜正祥素浩	雄治弘道保行成健	尾鷲(2)	伊藤湊	良章

III 文化財パトロール事業

1. 事業の概要

三重県下の指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地を巡視し、常時、文化財の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財の保護の万全を期することを目的として、各教育事務所毎に文化財調査員を任命して調査活動を行っている。

建造物・天然記念物の巡視、保護管理指導には、57年度からチェックポイントカードにより調査の徹底をはかっている。(P.5 文化財調査員一覧参照)

2. 巡視報告

(天然記念物・名勝)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
多度のイヌナシ自生地	多 度 町	説明板なし。
美鹿の神明スギ	〃	〃
坂本のボダイシュ	藤 原 町	枝の枯損あり。
篠立の風穴	〃	異常なし。
御池沼沢植物群落 (国指定)	四 日 市 市	ハンノキ等の侵入がある。土砂により一部分埋没。
西阿倉川のアイナシ自生地 (国指定)	〃	周囲の高木による圧迫がある。
東阿倉川のアイナシ自生地 (〃)	〃	異常なし。
奥郷の寒椿	菰 野 町	〃
宗英寺のイチヨウ	亀 山 市	〃
石薬師の蒲ザクラ	鈴 鹿 市	一部枝の先枯れがある。
長太の大クス	〃	〃
川俣神社のスタジイ	〃	異常なし。
白子の不断桜 (国指定)	〃	〃
西の城戸のヒイラギ	〃	〃
アイナシ	〃	竹の侵入がある。
金生水沼沢植物群落 (国指定)	〃	保護増殖事業実施中。
鈴鹿山の鏡肌	関 町	異常なし。
椋本の大ムク (国指定)	芸 濃 町	〃
長徳寺の竜王桜	〃	〃
柳谷の貝石山	美 里 村	〃
榊原の具石山	久 居 市	標柱・説明板なし。
矢頭の大スギ	一 志 町	異常なし。
国津神社のケヤキ	美 杉 村	〃
真福院のケヤキ	〃	〃
東平寺のシイノキ樹叢	〃	〃
不動院のムカデラン群落 (国指定)	松 阪 市	説明板なし。雑草の侵入が増加。
水屋の大クス	飯 高 町	異常なし。
西村広林宅跡のフウ樹	多 気 町	標示板・説明板なし。
柄ヶ池湿地植物群落	〃	クチナシ群落減少、雑草多い。
齋宮のハナショウブ群落 (国指定)	明 和 町	雑草が侵入。
大杉谷の大杉	宮 川 村	異常なし。
獅子島の樹叢	南 勢 町	〃

名 称	所 在 地	点 検 結 果
道方の浮島	南 島 町	異常なし。
果号寺のシブナシガヤ (国指定)	上 野 市	一部分枝枯損。
高倉神社のシブナシガヤ (国指定)	〃	大部分枯損。
花垣のヤエザクラ	〃	異常なし。
飛鳥神社樹叢	尾 鷲 市	1本折損。
九木神社樹叢 (国指定)	〃	異常なし。
法然寺のテツギョ	〃	産卵せず。(ウナギによる幼魚の食害のおそれあり)
佐波留島	〃	異常なし。
尾鷲神社の大クス	〃	〃。
豊浦神社樹叢	紀伊長島町	〃。
大島暖地性植物群落 (国指定)	〃	〃。
鈴島暖地性植物群落	〃	黒松枯死。他は異常なし。
長島神社樹叢	〃	異常なし。
フウラン群生地	〃	〃。
島勝神社樹叢	海 山 町	〃。

(美術工芸品)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
木造十一面観音立像 (国指定)	度 会 町	異常なし。
岩根の磨崖仏	上 野 市	〃。
木造不動明王立像 (国指定)	名 張 市	〃。
石造燈籠 (国指定)	〃	〃。
木造十一面観音立像 (国指定)	青 山 町	〃。
木造薬師如来坐像	尾 鷲 市	〃。
木造薬師如来坐像	海 山 町	〃。

(建 造 物)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
猪田神社本殿	上 野 市	一部分破損。
木造閻魔堂	〃	内陣床板破損。
射手神社十三重塔 (国指定)	〃	異常なし。
石造宝塔	阿 山 町	〃。
石造九重塔	青 山 町	〃。

(古 文 書)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
紙本墨書尾鷲大庄屋文書	尾 鷲 市	異常なし。
須賀利浦方文書	〃	〃。

(有形民俗文化財)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
越賀舞台	志 摩 町	屋根の痛み激しい。
紙漉き用具一式	名 張 市	異常なし。
八鬼山町石及び石造三宝荒神立像	尾 鷲 市	〃。
石造不動明王立像	〃	〃。
尾鷲神社獅子頭	〃	〃。

Ⅳ 国指定文化財の保護 —国庫補助・県費補助事業—

() 内は事業主体者

1. 保存修理

(1) 建造物 専修寺如来堂 (津市・専修寺)

真宗高田派本山専修寺如来堂は、全面的な屋根の痛みや縁板の腐蝕等が目立ってきているため、昭和57年度から保存修理事業に入り、本年度は、身舎・裳階軒廻りの部分解体、組立て、補足瓦の納入などを行った。

(2) 建造物 金剛証寺本堂 (伊勢市・金剛証寺)

江戸時代初期の建立で、昭和4年に解体修理、同34年に屋根の葺替工事が行われたが、本堂床下で地割れが発生しており、本堂の柱全体が傾斜し、縁板に数cmの隙間が生じているため、破損状況についてボーリング調査・基盤層調査・建物歪調査を行った。

(3) 史跡 上野城跡 (上野市)

上野城跡の石垣は、構築後約400年を経て、随所に石垣のはらみ、波打ちが生じ崩壊の危機が生じたため、昭和55年度から継続的に復元工事をすすめ、本年度は、旧筒井城石垣101.5㎡の撤去と53.6㎡の積替、石垣の現況側面図を作成した。

(4) 史跡 正法寺山荘跡 (関町)

昭和52年度以降、山荘跡の発掘調査が行われてきたが、本年度は、60年度に発掘調査した部分について環境整備を行い、史跡公園として一般公開するための休憩施設等を設置した。

(5) 伝統的建造物群 関町関宿重要伝統的建造物群保存地区 (関町)

昭和59年12月10日重要伝統的建造物群保存地区として選定された中で、修理事業として1戸の解体修理と2戸の半解体修理、1戸の屋根替え及び前面一部修理が行われた。また修景事業としては2戸がその対象となった。

2. 指定文化財管理

(1) 建造物 観音提寺楼門 (鳥ヶ原村・観音提寺)

本堂とともに重要文化財として指定されている楼門の屋根の痛みが激しく、檜皮の崩落が目立つため、特に著しい正面・東面・西面の軒先部分の檜皮葺替えを行った。

3. 防災施設

(1) 建造物 専修寺御影堂ほか (津市・専修寺)

真宗高田派本山専修寺は、国宝2件を含む多数の重要文化財を有しながら、火災等に対する備えが不十分なため、昭和57年度から継続的に御影堂を中心に防災施設を設置してきた。本年度は、空気管・受信機・感知器等の自動火災報知設備工事を行った。

4. 無形文化財の伝承・記録保存

(1) 無形文化財 伊勢型紙 (鈴鹿市)

伊勢型紙技術保持者の指導のもと、中堅技術者を対象として伝承者の養成及び資料の収集に努めるもので、

本年度は第5期4年次にあたり、5名の養成委員による実技指導、復刻作品の講評、先進各地の伝統工芸の視察などを行った。

(2) 選択無形民俗文化財 **伊勢のお木曳行事**（伊勢市）（国庫補助のみ）

第61回神宮式年遷宮の第1年次お木曳行事を無形の民俗文化財記録保存として映像記録をし、広く一般の利用に供するため、16mmカラーで撮影編集を行った。

5. 特別天然記念物カモシカ保護

近年、人工造林地の幼齢木に対するカモシカの食害が増加し社会問題化しているため、環境庁・林野庁・文化庁の三庁協議にもとづいて、種の指定から生息地による指定へ移行するための経過措置として、保護地域設定がすすめられ、保存のための調査とともに食害防除のための防護柵設置を行った。

(1) 通常調査（三重県）

三重県文化財調査員に依頼し、鈴鹿山系保護地域及び大台系におけるカモシカの生息状況、生息環境を定期的に巡視した。

〈調査員〉（ ）は担当地区

清水 実（藤原町）・伊藤 勝義（藤原町）・辻 賢二（北勢町）・出口 幸雄（北勢町）
木村 裕之（大安町）・清水 義孝（大安町）・伊藤 武吉（菰野町）・森 豊（菰野町）
松永 良郷（四日市市）・寺田 卓二（四日市市）・瀬川 学（鈴鹿市）・奥埜 清道（鈴鹿市）
中川 宗夫（宮川村）・福居 里平（宮川村）・小林平八郎（宮川村）・辻本 恵計（宮川村）
川端 徳雄（海山町）・上村 克利（海山町）・山本 和彦（尾鷲市）・清水 善吉（尾鷲市）

(2) 特別調査（三重県）

カモシカ生息の基盤をなす環境について、奈良県・和歌山県とともに紀伊山地の森林概況、土地利用状況、生息状況等の調査を行った。調査にあたっては(財)日本野生生物研究センターに委嘱した。

(3) カモシカ食害対策〔防護柵の設置〕（各市町村）

（宮川村）	21か所	14,600m	（海山町）	10か所	8,784m
（飯高町）	8か所	5,205m	（紀伊長島町）	1か所	900m
（尾鷲市）	4か所	2,810m			

6. 天然記念物保護増殖

(1) 金生水沼沢植物群落（鈴鹿市）

昭和59年度の堰設置、60年度の雑木伐採等事業のあとを受けて、調査委員会の指摘による給水施設を設置してその効果を確認するとともに、沼沢地の萌芽・木本類の伐採等の事業を継続して実施し、保護増殖事業を促進した。

V 県指定文化財の保護－県費補助事業－

()内は事業主体者

1. 保存修理

(1) 建造物 白山比咩神社本殿（白山町・白山比咩神社）

慶長20年（1615）建立の屋根檜皮葺、春日造の社で、軒廻りの彫刻と彩色に桃山期の特徴がよくあらわされており、昭和31年12月5日県指定されたが、柱土台の腐蝕、屋根破損、彩色の傷み等甚しく、昭和60年度と61年度の2か年で修理を施した。修理事業は、本部部分・屋根葺替え・塗装・金具工事等であった。

(2) 彫刻 木造日光菩薩立像（上野市・仏土寺）

仏土寺には昭和31年5月2日県指定の木造日光菩薩立像と木造月光菩薩立像（ともに平安時代）があるが、このうち61年度は日光菩薩立像の燻蒸、蓮弁割損部の補足等を行ったが、各修理個所の古色仕上げは今回は行わなかった。

VI 文化財愛護地域活動

1. 文化財愛護推進方策研究

(1) 実践研究の主題 〈グループ活動による町内未発見古文書の調査、保護と解説継承者の養成〉

(2) 実践研究の主体 大台町教育委員会

(3) 実施期間 昭和61年4月1日～昭和62年3月31日

(4) 実践研究の場の地域特性

大台町は、三重県の南部と中部の堺の辺りに存在する。宮川に沿った東西に細長い町で、国道42号線が町を縦断している。当町は、奥伊勢5か町村の中心に位置するため、公官庁、金融機関、商店が比較的多い。伊勢茶の産地であり、しいたけ栽培も行われて昔からの産業が営まれているが、商業とサラリーマンの町となってきた。

地域の歴史は古く、日本の考古学会でも注目を浴びている旧石器時代の遺跡があり、田口大橋建設の際の発掘調査で打製石器が多種、多量に発見されている。また、伊勢と熊野を結んだ熊野街道もほぼ町内を東西にとおり、現在もその一部が残っている。また、北畠具教の居城跡もあり、遺跡も町内各地に存在している。

江戸時代は、紀州藩の田丸領に属し、当時の関係の古文書が多数発見されている。

(5) 実践研究の当初のねらいと研究事項

民家に発見されないままにしまわれている古文書は、家屋の建直しや改築の折に焼却されたり捨てられたりして失われることが案外と多い。それらの古文書を調査し、保護することは重要なことである。また、発見された古文書を解説し、内容を明らかにすることは、郷土の歴史を知るうえで欠かせないことである。

① 町内の旧家を訪ね、古文書の発見に努める。発見された古文書は、解説及び整理し、台帳を作成する。

寄付を得られない古文書は、大切に保存されるよう所有者に申し入れる。

② 発見された古文書をコピーして解説の学習をする。内容についても論じあい、郷土の歴史や古文書の価値を理解する。また、この学習をとおして、解説の能力の有する者を養成していく。

③ 発見された古文書の内容について、学習会を開き理解を深め文化財愛護の啓発活動を行う。

④ 実践研究の団体は、大台町文化財保護調査委員会、古文書の会、大台町老人クラブ、三瀬谷婦人会とする。

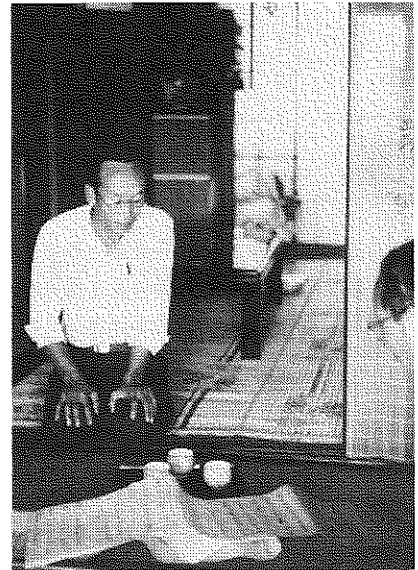
(6) 実践研究の概要

実践研究は、ねらいに即して次の3点について実施した。

① 古文書の発掘調査（発見できた日のみ記入）

月 日	字 名	所有者氏名	発見された古文書
6. 18	高 奈	大喜多金吾	高瀬称名院(～)写真等
7. 4	下 楠	西村 逸郎	庄屋村関係文書、水論山論文書他
9. 7	長 ケ	山本 東吾	借用証文等
8	弥起井	中西 定	年貢関係文書、山論文書、売渡證等
9	下三瀬	中西 文夫	山論文書、検地帳、大差出帳等
10. 4	上 楠	小西 一治	小西家由来文書等
1. 23	長 ケ	第一分校	校舎改築関係文書
2. 1	下 菅	堤 定和	堤家由来文書等
3. 8	弥起井	神戸 聡	茶関係文書、池改築文書

他に調査室へ持込まれた古文書が3点。



<61. 10. 4 小西一治氏宅において>

② 古文書の解説学習（古文書の会の学習）

月 日	学 習 内 容
4. 9	新田文書（山論）
5. 14	観世音霊場願禮記
6. 11	浪のもくず（かな道中記）
7. 2	松林寺文書（寺院建立等）川合池文書
8. 6	中西家文書（山林売買）
9. 3	西村家文書（租税関係）
10. 8	山本家文書（借用証文）
11. 12	〃
12. 10	坂瀬山論
1. 14	〃
2. 11	〃
3. 11	〃



<61. 9. 3 大台町就業改善センターにおいて>

解説学習(古文書の会)計画 ・日時 毎月等2水曜日の午後7:30～9:30
 ・場所 町就業改善センター・講師 栗谷 節二氏



<61. 10. 5 西村逸郎氏宅において>

- 現場学習 10月5日（午前9時～午後3時）
 - ・西村逸郎氏宅を訪ね保存されている古文書解説学習を行った。
 - ・神瀬の神照寺を訪ね釈迦涅槃像等の掛軸他をみて学習した。

古文書の会で自主的に毎月2回ずつ学習活動を行い、この事業で発見された文書の解説学習を行った。

③ 郷土史の学習会

月 日	学 習 内 容	学 習 者	講 師	参加者数
7. 19	弥起井村のむかし、山論と農民の生活等	三瀬谷婦人会弥起井支部	栗谷 節二	11人
8. 2	滝広のむかし、熊野街道等	" 滝広支部	"	15人
8. 9	大ヶ所のむかし、山論と農民の生活等	大ヶ所婦人会	"	22人
10. 21	むかしの庄屋の仕事	寿大学三瀬谷教室	出口 圭一	34人
10. 22	川添地区のむかし	" 川添教室	積木 夏保	38人
10. 23	郷土のむかし、庄屋の仕事等	" 三瀬谷教室	栗谷 節二	31人

(7) 実践研究の成果

① 古文書は、家屋の改築や建直しの際に焼却されたり、捨てられたりしている場合もあったけれど、一か所の訪問先で 220点も発見されたり、ほこりまみれの古道具の中から、池の改修を示す借用証文が発見されたりした。古い民家の二階や蔵には、うずもれたままの古文書があることもわかった。

② 古文書は、コピーされたものを見るだけでも、現物に近いものに触れる点で効果がある。しかし、それにも増して効果があったのは、現場学習であった。古い民家の座敷で箱からとり出してみると、古文書の書かれた当時の雰囲気がかもし出され、尚一層、古文書に対する興味や関心が高まった。

③ 郷土史の学習は、テレビや一般的な歴史書では知ることができないが、郷土の中から発見された古文書類は身近かなできごとに触れることができるので出席者が多い。一回限りでなく、何回も学習したいという声が多かった。身近かな資料から歴史を学ぶことの意義はやはり大きいことがわかった。

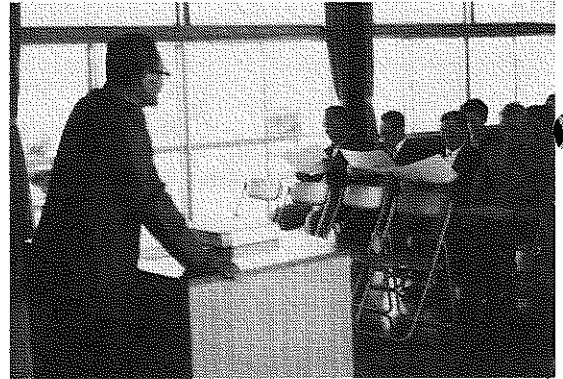
④ 古文書の解読はむつかしいもので、学者のすることであると考えている人も多いのではない。しかし、実際はそうでない。古文書の会員は、大工、材木師、農業等の職業に従事している人や主婦等さまざまであり、一担学習を始めると全員が興味を示す。古文書は、社会教育の学習資料として役立った。

(8) 実践研究を通して反省又は特記すべき事項

① 種々の原因で、民家に保存されている古文書はしだいに失われていく。その中に、郷土史を知る上で価値の高いものが多数ある。今回の調査で、もっと早い時期にするべきであったことを痛切に感じた。今後も継続して調査をする必要がある。

② 文化財愛護の精神を養うためには、やはりその価値を理解する学習が必要である。故きをたずねて新しきを知るたとえのとおり、古文書の解読学習や郷土史の学習に多くの人が強い興味や関心を示した。社会教育の場でも、郷土史関係の資料を活用し、文化財愛護の気持ちを高めていきたい。

③ 貴重な歴史資料を保存したり、展示したりするため資料館の建設に努力していきたい。



〈61. 10. 22 中央公民館において〉



〈61. 8. 9 大ヶ所集会所において〉

2. 文化財愛護強調週間行事 昭和61年11月1日～7日

(1) 県

実施事項	実施概要
<ul style="list-style-type: none"> ・三重県文化財講習会 昭和61年10月30日(木) AM10:00～PM4:00 松阪市社会教育センター 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 本居宣長資料の整理について 本居宣長記念館 学芸員 吉田 悦之先生 2. 歴史資料の見方、調べ方 文化庁美術工芸課 調査官 大塚 英明先生 <ul style="list-style-type: none"> ・受講対象 県文化財調査員、歴史の道調査員、各市町村文化財保護(調査)委員、県下各文化財研究団体、市町村文化財行政担当者、他 ・受講者数 123名
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会及び現地説明会 昭和61年11月2日(日) AM11:00～PM4:00 明和町中央公民館及び齋王宮跡 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 講演会 「伊勢神宮の祭祀と齋宮」 学習院女子短期大学講師 文学博士 吉野 裕子先生 ・受講者数 230名 2. 現地説明会 齋宮跡調査事務所 主事 杉谷 政樹 ・参加者数 180名

(2) 市町村

実施市町村名	実施事項
1. 津市	<ul style="list-style-type: none"> 1. 10月30日(木) 津市の文化財めぐり(四天王寺、津公園、県立美術館、専修寺、一身田寺内町) 2. 11月7日(金) 参宮街道膝栗毛(雲出島貫、六軒、松阪城跡、齋宮) 3. 11月12日(木) 津藩のゆかりを求めて(久居、松阪、射和、田丸)
2. 伊勢市	<ul style="list-style-type: none"> 1. 9月1日(月) } 市制80周年記念 市立郷土資料館特別展「伊勢の指定文化財」 10月5日(日) 2. 11月23日(日) } 第30回市民芸能大会 11月24日(月)
3. 松阪市	<ul style="list-style-type: none"> 1. 11月2日(日) } 長谷川家、三井家発祥地、本居宣長旧宅跡の公開 11月4日(火) 2. 11月1日(土) } 荒井勤之丞展 11月9日(日) 3. 11月8日(土) } 鈴屋学会大会(記念講演会、研究発表会) 11月9日(日)

実施市町村名	実 施 事 項
4. 桑 名 市	1. 11月6日(木) } 桑名市の民俗調査 11月7日(金) 2. 11月1日(土) } 用の美「茶碗」展 11月21日(金) 3. 11月16日(日) 「ふる郷九華」歴史を学ぶ写生大会 4. 10月21日(火) 婦人学級「歴史散歩」
5. 上 野 市	1. 10月29日(水) 文化財研修会(山城郷土資料館、神童寺、蟹満寺、禅定寺)
6. 鈴 鹿 市	1. 11月5日(水) 文化財リーフレットの発刊 2. 10月26日(日) 文化財講演会 (1) 上箕田遺跡と弥生時代の人々の暮らし (2) 市内出土遺物の展示 講師 三重大大学教授 八賀 晋先生 参加 約50名
7. 名 張 市	1. 11月2日(日) 第18回 観阿弥祭 2. 10月12日(日) } 夏見廃寺出土埴仏展示 11月16日(日)
8. 尾 鷲 市	1. 11月2日(日) } 須賀利今昔写真展 11月3日(月)
9. 亀 山 市	1. 11月1日(土) } 文化財標柱の設置(10ヶ所) 11月29日(土) 2. 11月18日(火) } 第13回 郷土資料展 11月30日(日)
10. 鳥 羽 市	1. 11月2日(日) } 第11回 鳥羽市民文化祭 11月4日(火)
11. 熊 野 市	1. 11月1日(土) 文化財専門委員会、市民文化祭 2. 11月3日(月) 市民文化祭
12. 久 居 市	1. 11月16日(日) 文化財めぐり「ぶらり探訪ハイキング」

実施市町村名	実 施 事 項
13. 貝 弁 町	1. 10月25日(土) } 町文化祭に大谷遺跡出土品展示 10月26日(日)
14. 東 貝 町	1. 10月25日(土) 埋蔵文化財現場説明会
15. 菰 野 町	1. 11月2日(日) } ふるさと芸能発表会、ワラの文化史展 11月3日(月)
16. 楠 町	1. 11月2日(日) } 町民文化祭 11月9日(日)
17. 朝 日 町	1. 11月3日(月) 埋蔵文化財展
18. 関 町	1. 11月2日(日) } 町文化祭 11月3日(月) 2. 11月23日(日) 加太地区文化農芸祭 3. 11月25日(火) 坂下地区文化農芸祭 4. 11月29日(土) } 関町町づくりイベント 東海道関宿街道祭り 12月1日(月)
19. 河 芸 町	1. 11月2日(日) } 第9回町文化祭、文化財収集委員会、郷土史研究会 11月3日(月)
20. 美 里 村	1. 10月26日(日) 文化展 約800名参加
21. 安 濃 町	1. 11月3日(月) 町文化祭
22. 香 良 洲 町	1. 11月3日(月) } 文化祭「ふるさと香良洲を探る 4」 11月4日(火)
23. 一 志 町	1. 10月26日(日) 町文化財紹介スライド観賞会
24. 白 山 町	1. 11月15日(土) 文化財めぐり
25. 嬉 野 町	1. 10月31日(金) 文化講演会 2. 11月1日(土) 文化祭(昭和59年度発掘の鷗尾を復元し展示) 3. 11月3日(月) 芸能発表会

実施市町村名	実 施 事 項
26. 美 杉 村	1. 11月1日(土) } 村文化祭 11月3日(月)
27. 三 雲 町	1. 11月1日(土) } 文化祭 文化財展示、伊勢太神楽ビデオ放映 11月2日(日)
28. 飯 南 町	1. 11月22日(土) } 町産業文化祭 11月23日(日)
29. 飯 高 町	1. 11月1日(土) } 赤桶地区ふるさと祭り 昔の生活道具展 11月2日(日) 2. 11月8日(土) } 町文化祭、花岡神社獅子大神楽発表会 11月9日(日) 3. 11月15日(土) } 波瀬地区ふるさと祭り 11月16日(日)
30. 多 気 町	1. 10月18日(土) } 町内文化財の展示会 10月19日(日)
31. 明 和 町	1. 11月2日(日) 国史跡齋宮跡説明会、文化財展示会
32. 大 台 町	1. 11月7日(金) } 大台町の野仏調査会 11月9日(日)
33. 勢 和 村	1. 11月8日(土) } 村文化祭 11月9日(日) 2. 11月30日(日) 名所、旧跡めぐり歩け歩け大会
34. 宮 川 村	1. 11月9日(日) 昔の遊び再現学習会
35. 大 宮 町	1. 11月2日(日) 町文化展 2. 11月8日(土) 大宮町史配布 3. 11月15日(土) 教頭の文化財研修会
36. 南 勢 町	1. 11月9日(日) 南勢町文化財めぐり

実施市町村名	実 施 事 項
37. 南 島 町	1. 11月3日(月) } 文化財展示会 11月4日(火)
38. 大内山村	1. 11月9日(日) 村民文化祭(古文書、たく本等の展示)
39. 度会町	1. 11月15日(土) 町文化祭(埋蔵文化財の展示) } 11月16日(日)
40. 志摩町	1. 11月15日(土) 郷土民具展示会 2. 11月27日(木) } 志摩町文化財調査委員会々議 11月28日(金)
41. 磯部町	1. 11月30日(日) ふるさと歴史ハイキング(町内文化財、史跡めぐり)
42. 島ヶ原村	1. 文化財保護強調月間の周知を図る広報活動及び村内文化財保護についての研修会
43. 阿山町	1. 10月26日(日) 歴史探訪と東海自然歩道歩こう会
44. 大山田村	1. 11月15日(土) } 第2回埋蔵文化財展(大山田村の古墳時代) 11月17日(月)
45. 青山町	1. 11月1日(土) 町内出土埋蔵文化財展 2. 11月13日(木) 町文化財専門委員会
46. 紀伊長島町	1. 10月24日(金) 寿大学講座「町外の文化財をたずねて」 2. 11月7日(金) 郷土史学級「ふるさとの文化財めぐり」
47. 御浜町	1. 11月2日(日) } 第13回町文化祭 11月3日(月) 2. 11月9日(日) 文化協会研修の旅 3. 11月12日(木) 文化財調査専門委員等研修会
48. 紀宝町	1. 11月2日(日) } 町文化展に町内文化財展示 11月3日(月)
49. 紀和町	1. 11月4日(火) 文化財防災啓蒙 2. 11月6日(木) 指定文化財周辺の整備活動
50. 鵜殿村	1. 10月14日(火) 高齢者教室「郷土の史跡」講座と現地めぐり

3. 文化財防火デー行事 1月26日 —第33回—

・昭和61年12月18日付けの通知に対する各市町村教育委員会の実施報告による。

市町村名	実施事項	実施概要
桑名市	防火訓練	1月26日 神館神社の拝殿より出火想定のもとに桑名消防署(消防車)、神館神社氏子、若宮町自治会の人も参加し消火訓練。参加者25名。
	防火点検依頼	12月3日 市指定文化財所有者、管理者に対し、文化財防火についてのお願いと防火の点検を依頼。
		2月20日 市指定文化財所有者、管理者に対し、最近における火災の多発についてお知らせするとともに防火の点検を依頼。
員弁町	防火パレード	1月5日 消防団の主催により、町内を消防車等でパレードし、防火及び震災などの心構え、注意を呼びかけ消防用具、消防設備等の点検を行った。参加者60名
四日市市	査 察	1月20日 県指定「鯨船山車」「大入道山車」市指定「古萬古三点」「泗水の井戸・仏涅槃図」「大日如来坐像」国指定「十六間四方白星兜鉢」を消防本部2名、中消防署1名、社会教育課1名で実施。
	防 水 訓 練	1月20日 県指定「大入道山車」収蔵庫隣民家から出火、延焼拡大の想定のもとに消防車3台、救急車1台、中消防署20名、関係者20名の参加にて、文化財の搬出、消火訓練を実施。
	査 察	1月21日 県指定「阿弥陀如来立像と九重の守」「陶製灯籠」「毘沙門天立像」市指定「井島文庫・天春文庫・羽津阿倉川土地紛争判決文書」「御館獅子舞」「北野町獅子舞」を消防本部2名、中消防署1名、社会教育課1名で実施。
	査 察	1月22日 国指定「不動明王立像」県指定「銅鐸」市指定「地藏菩薩坐像」「薬師如来坐像」「大念仏」を消防本部2名、南消防署4名、社会教育課1名で実施。
	査 察	1月23日 県指定「阿弥陀如来坐像・仏頭」市指定「四郷村役場」「大名町村方古文書」「水沢・堂ヶ山野境紛争の判決文書」「お諏訪おどり」を消防本部2名、南消防署4名、社会教育課1名で実施。
	査 察	1月24日 国指定「阿弥陀如来立像と胎内納入文書」県指定「地藏菩薩坐像」「蝙蝠堂民俗玩具」市指定「志氏神社古墳・出土品・狛犬」を消防本部2名、北消防署1名、社会教育課1名で実施。
	防 水 訓 練	1月24日 国指定慈恵大師坐像」県指定「誕生釈迦立像」「地藏菩薩坐像」「薬師如来立像」等を所有している垂坂観音寺本堂のろうそくの不始末により出火延焼の想定のもと、消防車3台、救急車1台、中消防署19名、大矢知分団13名、関係者10名の参加にて文化財の搬出、消火訓練を実施。
	査 察	1月26日 国指定「慈恵大師坐像」県指定「誕生釈迦立像・地藏菩薩坐像・薬師如来立像」「仏涅槃図・真源大沢禅師像・禅源大済禅師像、大般若経」市指定「仏涅槃図・山門」「広山和尚画像」「経塚公園「龍王

市町村名	実施事項	実施概要	要
(四日市市) (きつづき)	放水訓練	1月26日	山宝性寺「万葉史跡と聖武天皇社」を消防本部2名、北消防署1名、社会教育課1名で実施
	放水訓練	1月26日	市指定「龍宝山宝性寺」が浮浪者のたき火の放置により延焼との想定のもと、消防車3台、救急車1台、北消防署員18名、大矢知分団5名、関係者10名の参加にて消火訓練を実施。
	放水訓練	1月26日	県指定「仏頭・阿弥陀如来坐像」を所有する顕正寺の西、空屋から出火延焼拡大との想定のもと、消防車3台、南消防署21名、四郷分団6名、関係者26名の参加にて、搬出、消火訓練を実施。
	放水訓練	1月26日	市指定「大日如来坐像」を所有する大日寺の庫裏炊事場から出火延焼拡大との想定のもと、消防車4台、中消防署15名、神前分団7名、関係者10名の参加にて、搬出、消火訓練を実施。
	放水訓練	1月27日	市指定「四郷郷土資料館」の展示室製糸コーナーから、見学者のたばこの投げ捨てによって延焼拡大の想定のもと、消防車3台、南消防署20名、四郷分団5名、関係者20名の参加にて消火訓練を実施。
放水訓練	1月27日	県指定「地藏菩薩坐像」を所有する正法寺本堂ろうそくの不始末により出火延焼拡大の想定のもと、消防車3台、救急車1台、北消防署19名、羽津分団6名、関係者10名の参加にて、搬出、消火訓練を実施。	
菰野町	消防訓練	1月23日	文化財の規模、立地条件、人員構成等から危険性が高いと目される見性寺を対象に消火訓練を実施。 町内40ヶ寺の寺院について図上訓練、実施踏査等を実施。
	査察	1月23日 1月24日 1月26日	大日堂、尾高観音収蔵庫、郷土資料館、禅林寺、寒椿、見性寺、尾高観音、菰野ふるさと館、福王神社を対象に実施。
	広報活動	(ア) 文化財施設関係者に対し、総合的防火管理の啓蒙を実施。 (イ) 町広報、広報車及び有線放送により広報活動を実施。 (ウ) 文化財施設に防火広報板を設置。	
亀山市	防災説明会	1月22日	西光寺の阿弥陀如来坐像の文化財的価値とその保存、保護について及び、火災震災時の心がまえ、避難及び初期消火について市教員、消防署から説明。参加者10名。
	防火訓練	1月30日	羽若町西光寺本堂より出火の想定のもと、亀山消防署、地域消防団の出動を得て消火ならびに文化財搬出訓練を実施。参加者30名。
関町	防火訓練	1月26日	重要文化財関地藏院愛染堂より出火の想定のもとに、亀山消防署、関分署より出動、地藏町自治会も一部参加し初期消火訓練を実施。更に重要物件搬出等の訓練と同時に消火器等を点検し反省会を開いた。参加者35名。
	広報活動	昭和62年2月	関町広報において、文化財防火デーの趣旨を掲載し、一般町民に防火意識の高揚を啓発した。

市町村名	実施事項	実施概要
津市	消防訓練 防火施設立入検査 広報活動	<p>1月26日 ・高田本山専修寺。消火、放水、避難誘導及び消防用設備の運用。消防署、消防団、専修寺、高田青少年会館、婦人防火推進委員等81名参加。消防車両等13台出動。</p> <p>・神宮寺。通報、消火、放水及び救護訓練。消防署、消防団、地元自警団、婦人防火推進委員等50名参加。消防車両等5台出動。</p> <p>・谷川士清旧宅。通報、消火、放水及び救護訓練。消防署、消防団、地元自治会、婦人防火推進委員等30名参加。消防車両等4台出動。</p> <p>・円福寺。通報、消火、放水訓練。消防署、地元自治会等20名参加。消防車両等2台出動。</p> <p>・真教寺。通報、消火、放水訓練。消防署、消防団、地元自治会等38名参加。消防車両等3台出動。</p> <p>1月22日 神宮寺・谷川士清旧宅、阿部喜兵衛商店。</p> <p>1月23日 慈智院、高田本山専修寺</p> <p>(ア) 「文化財を火災から守りましょう」チラシ配布。 (イ) 「文化財防火デー」立看板設置。 (ウ) 津市政だよりに「文化財を火災から守りましょう」を掲載。</p>
河芸町	文化財パトロール 啓発活動	<p>文化財保護審議会、教育委員会、消防関係合同により町内の寺、神社等の防火対策、防火設備等を点検し防火思想の普及をはかった。</p> <p>チラシを配布し広く町民に防火、文化財保護について呼びかけ意識の高揚をはかった。</p>
芸濃町	防火訓練	<p>1月26日 浄蓮寺において、本堂より出火の想定のもとに住職を召集し、119番通報の仕方、消火、重要物件搬出の訓練を実施。参加者10名。</p> <p>1月27日 美濃夜神社において、本殿より出火の想定のもとに神宮、近隣の人人を召集し、防火の話、119番通報の仕方、消火、重要物件搬出の訓練を実施。参加者14名。</p>
美里村	広報活動	<p>(ア) 広報紙による防火デーのPR。 (イ) 出初式において村長、団長より文化財防火の訓示。 (ウ) 美里分遣所によるパトロール活動。</p>
安濃町	啓発	<p>1月3日 ・松原寺所在の安濃地区集会において防火思想の啓蒙をはかる。特に文化財保管の建物について。 ・善福寺所在の連部地区集会において、火災の起きる時期であるので、防火思想の徹底をはかる。</p>
久居市	広報活動 立入検査	<p>広報「ひさい」へ掲載し、市民に文化財防火デーと文化財保護について啓蒙。市内の各寺院に対し、個別に寺境内、堂内の仏像を中心に点検。</p>
香良洲町	広報活動	<p>「文化財防火デー」の趣旨を住民に認識させるため、立看板の設置、町広報への記載等で文化財愛護と防災意識の高揚に努めた。</p>

市町村名	実施事項	実 施 概 要
一志町	文化財講座 広報活動	町内の文化財をスライドにして、各地区へ文化財保護委員を講師に文化財講座を開講。 町広報へ町文化財についての紹介。文化財説明板設置。
白山町	防災説明会	9月27日 県指定「白山比咩神社」(川口)の修理完了に合わせて、神社を見学するとともに、防災、防火の必要性についても説明会を実施。参加者20名。
嬉野町	防火訓練	1月25日 一志薬師寺より出火の想定のもとに、嬉野町消防団本部班出動、地元住民も参加し、消火栓を使って訓練。反省会。参加者35名。
美杉村	啓発活動	村内の国、県指定文化財所有者に対し、啓発活動の実施。
三雲町	防災巡回説明	2月1日 松阪地区広報消防組合三雲分署に協力を依頼、町内文化財所有施設の点検と保存責任者への趣旨説明。初期消火等の手順確認。
松阪市	防災訓練	1月24日 国特別史跡「本居宣長旧宅」より出火の想定のもとに訓練。 1. 旧宅の火災報知機作動→記念館警報→松阪消防署へ通報 2. 消防署→記念館長(確認電話) 3. 記念館職員、市職員出動→旧宅前の消火栓放水 4. 消防車出動→放水→鎮火 訓練後、消火器による初期消火指導を受ける。参加者34名。
飯南町	査 察 広 報	県指定他町内の文化財の所在場所を確認、所有者、管理者に火災予防の注意を促す。 同報無線により町内一斉に火災予防の呼びかけ。
飯高町	防火訓練	1月6日 町消防団員、広域消防職員による通常点検、消防操法、放水演習を実施。各地区婦人会員の多数の参加を得、消防防災意識の高揚に役立てた。 1月27日 口窄泰寺所在の消防分団の主催による防火訓練。文化財保護のための初期消火訓練。参加者約50名。
多気町	防火点検 査 察	町内の国・県指定及び重要な文化財の防火体制の現地調査。 12月10日 近長谷寺、珊瑚寺 1月23日 法泉寺、浄光院、金粒丸看板、太好庵扁額、石造五輪塔 12月～2月 町内全域の神社、仏閣の防火体制の理地調査と指導を消防署と町教育委員会合同で実施。
明和町	防火防災訓練	9月1日 文化財の被害を防止するため、関係機関と連絡をとり、災害時等における心構え、避難、初期消火、応急処置等について指導・助言を行ない、文化財の保護に万全を期した。参加者440名。

市町村名	実施事項	実施概要
(明和町) つづき	発と点検	1月26日 行政職員、消防署員による文化財の点検及び文化財所有者に対する啓蒙・啓発、消火設備等の点検活動。有線放送、広報車による町民に対する広報活動。
大台町	防火訓練 啓発活動	1月26日 大台海洋センターに保管する古文書を火災から守るために、消防団への通報訓練、消火器による消火訓練、古文書の搬出訓練を実施。参加者16名。 文化財保護調査委員と教育委員会が町内へ古文書調査に行く度に、古文書、民具等を防火、盗難より守る呼びかけを行なう。町内の20か寺のうち、年間4、5か寺訪問し、調査とともに、保護を呼びかけている。
勢和村	防火訓練 査 察 広報活動	1月11日 消火ポンプ基本操方の訓練と火災を想定した消火訓練、更には消火器等の点検を実施。参加者200名 11月28日 事業所及び重要文化財施設等を巡回し、防火の心がまえや消火、重要物件搬出等について指導。参加者10名。 異常乾燥時に村内一円に、放送施設を利用して防火の呼びかけを実施。その他の活動として、夜警（12月29日～30日）。地震発生時の防火訓練（9月1日）。消防団幹部訓練（7月13日）を実施。
宮川村	啓発活動 防災会議 査 察	12月20日 年末、年始に文化財に対する関心を呼び起こし、文化財保護のための啓蒙をする。 1月10日 1月8日 村文化財保護委員会を実施。本村の文化財施設、防災の現状と今後の方策について話し合う。参加者5名。 1月19日 村文化財保護委員により村営民俗資料館の防災チェックをした。参加者5名。
伊勢市	立入検査 立入検査 及び 消火訓練	1月21日 久昌寺、蕎麦社、市立郷土資料館を対象。 1月22日 神宮文庫、神宮徴古館・農業館、祭主職舎、林崎文庫を対象。 1月23日 世義寺、光明寺、寂照寺、等観寺を対亀。 以上を市消防2名、中電2名、市教委1名で実施。 1月26日 金剛証寺本堂、奥の院、開山堂、庫裏、宝物館などの水気使用施設、電気関係の検査を市消防4名、中電2名、市教委2名で実施。 金剛証寺本堂より出火の想定。自衛消防団により放水銃で初期消火、市消防本部ポンプ車による消火訓練実施。参加者9名。
玉城町	立入検査	1月19日 国指定重文「十一面観音像」修納の田宮寺、「獅子胴」修納の山田寺、「宮古の石風呂」の防火立入検査を実施。参加者9名。
小俣町	広報活動	(ア) 「文化財防火デー」ポスターの掲示。 (イ) 官舎神社社務所前に火災予防に関する看板の設置。消水器、防火用水等の点検。

市町村名	実施事項	実 施 概 要
南勢町	防火査察 啓蒙活動	<p>1月26日 町内の民俗資料館、正泉寺、西来寺、日和山古墳、桂雲寺ほかの防火全般について査察を実施。消防関係者2名、文化財保護委員2名、教委2名参加。</p> <p>町内の小学校に対し、文化財愛護と防火思想を普及するため、民俗資料館において消火器、非常通路等の説明をした。</p> <p>1月28日 五ヶ所小学校児童及び教員46名。</p> <p>2月1日 穂原小学校児童及び教員21名。 町内老人クラブ8名</p>
鳥羽市	立入検査	<p>1月26日 神島町八代神社伊勢神島祭祀遺物収蔵を対象に、防火立入調査と所有者に対する防火指導を実施。参加者市消防署2名、市教委2名。</p> <p>1月13日 丸山庫蔵寺を対象に、市教委職員3名により本堂及び周辺の立入調査。</p>
志摩町	立入検査 査 察	<p>1月23日 志摩広域消防組合志摩分署員4名により県指定「越賀舞台」の立入検査を実施。</p> <p>2月下旬 指定文化財、彫刻、紙本、建造物、絵画、工芸品を対象に査察を実施。参加者 町文化財調査委員会10名、町教委2名。</p>
阿児町	防火査察	<p>1月26日 安乗寺本堂、源慶寺本堂、海蔵寺薬師堂、本福寺太子堂、昌禅寺観音堂、棲鳳寺大日堂を対象に、消火器、防火施設等を点検した。参加者15名。</p>
礎部町	防火啓蒙	<p>11月30日 ふるさと歴史ハイキングの実施を兼ね、町民に文化財の価値を認識させ、同時に防火についても意識を深めた。参加者83名。</p>
上野市	防火訓練	<p>1月25日 市指定伊賀上野城管理事務所でのストーブの不始末から出火、小天守閣に延焼したとの想定のもとに上野消防署より梯子車、小型車、タンク車が、中部北消防分署から小型ポンプ車が出動し、公園内の堀、池の水を使って放水を行ない消火延焼防止訓練を実施。その他、消火器使用訓練、点検等も行ない、観光客の避難誘導及び救急処置について消防署員より説明を受けた。参加者46名。</p> <p>(伊賀上野城)</p> <p>(町井家住宅) 国指定重文「町井家住宅」より出火の想定のもとに、上野消防署丸山出張所より消防車が出動、正面玄関及び裏管理棟への消火訓練を実施。町井家設置の消防設備、消火栓用ポンプ、放水銃の操作について実地訓練も実施。参加者30名。</p>
名張市	消防訓練	<p>1月26日 市指定文化財を所有する栄林寺庫裡の炊事場付近から出火、本堂へ延焼するとの想定で、地区民、寺関係者による初期消火、文化財の搬出及び地元消防団、名張消防署のポンプ車出動による放水訓練を実施。市消防署員による消火器の扱い方訓練と防火映画の鑑賞も実</p>

市町村名	実施事項	実施概要	要
(名張市) つづき	啓 発	施。市消防署員による消火器の扱い方訓練と防火映画の鑑賞も実施。 参加者100名	市内30件の文化財所有者、管理者に対し防火対策の強化対啓発を実施。
伊賀町	防 火 訓 練	1月26日 松栄寺庫裡台所から出火、本堂に延焼したとの想定のもとに、伊賀分署出動、町消防団本部役員及び第2分団第4部出動、放水消火、文化財の搬出等の訓練を実施。参加者41名	
阿山町	広 報 活 動	1月26日 有線放送により午後8時に「第33回文化財防火デー」についての説明を行い、文化財の防火を呼びかけた。	
鳥ヶ原村	広 報 活 動 防 火 講 習	1月23日 村民全般に有線放送により「文化財防火デー」の周知と文化財を災害から守り文化財愛護の高揚を図った。また、公用車により村内一円を巡回し、より一層の周知徹底を図った。 1月24日 1月27日 高齢者学級、婦人学級の時間に文化財愛護と災害から守るための講習会を実施。 1月30日	
大山田村	防 火 訓 練 広 報 活 動	1月26日 村指定文化財を所有する極楽寺庫裡より出火の想定のもとに、消防署大山田出張所出動、地元区民も参加して文化財搬出訓練も実施。消火器の取扱い説明と消火実験も実施。参加者38名。 有線放送により「文化財防火デー」の趣旨を啓蒙した。	
青山町	防 火 点 検	1月26日 町教委、町文化財専門委員、伊賀南部消防組合青山分署が合同で、町内の国及び県指定文化財所有者・管理者に対し、消火、防災に対する啓蒙及び立入検査を実施し、管理状況、消火設備、消火器等の点検を行った。参加者8名。	
熊野市	防 災 説 明 会	1月20日 (1) 文化財専門委員会において、文化財防火及び管理に関する会議を開く。 (2) 文化財専門委員及び市教委の現地視察により絵画、建造物、能面等については、管理者に対し防火指導を行う。史跡、天然記念物については、雑草刈りや配電線等に障害がある個所の立木の枝打等を実施。	
紀宝町	広 報 活 動	1月23日 有線放送による町内全域への広報。 1月27日	
紀和町	防 火 啓 蒙 環 境 整 備	1月26日 町内全域に広報無線により防火の呼びかけを実施。 9月16日 指定文化財周辺の整備及び雑草刈りと清掃を実施。 9月17日	
鶉殿村	環 境 整 備 消 火 訓 練	10月11日 村指定文化財「鶉殿城跡」内及び周辺の草刈り。参加者8名。 2月1日 村指定文化財「烏止野神社々叢林より出火の想定のもとに、町内会及び消防団参加による初期消火訓練を実施。参加者30名。	

4. 文化財講習会 10月30日 ー第4回ー

第4回文化財講習会を10月30日(木)松阪市社会教育センターにおいて開催した。この講習会は、文化財の保護及び振興の一助と資質の向上を図るため、午前は、本居宣長記念館 吉田悦之学芸員から「本居宣長資料の整理について」、午後からは、文化庁美術工芸課 大塚英明文化財調査員から「歴史資料の見方・調べ方について」の講義があり、理解を深めることができた。

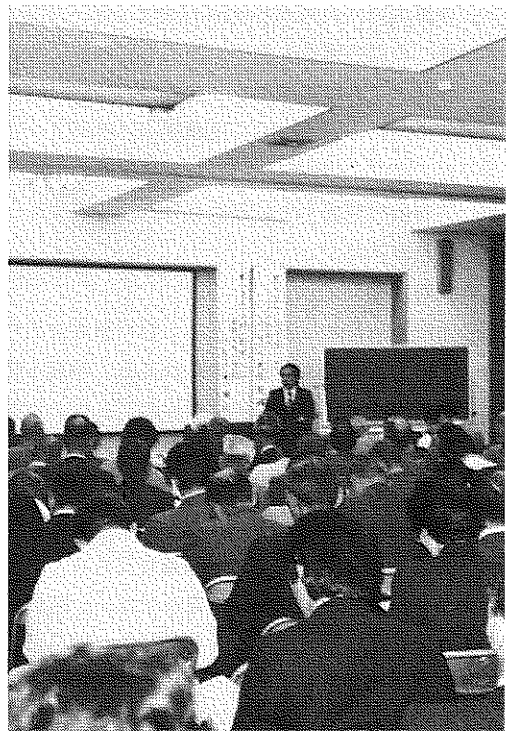
昭和61年度 三重県文化財講習会実施要領

1. 目的 文化財保護に携わっている三重県文化財調査員をはじめ市町村文化財保護関係者等を対象として、文化財の調査と保護に関する専門的知識と技能の研修を行ない、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。
2. 主催 三重県教育委員会
3. 期日 昭和61年10月30日 木曜日
4. 会場 松阪市社会教育センター
5. 対象 三重県文化財調査員、市町村文化財保護審議委員、市町村文化財行政担当者、その他
6. 日程 午前 「本居宣長資料の整理について」 本居宣長記念館 吉田悦之先生
午後 「歴史資料の見方・調べ方」 文化庁美術工芸課 大塚英明調査員

参加者 123名

・教育事務所別 ・市町村別

北 勢 28	鈴鹿市 3、藤原町 3、亀山市 5、 大安町 1、四日市市 5、北勢町 2、 員弁町 2、多度町 1、桑名市 1、 東員町 4、朝日町 1、
中 勢 13	一志町 3、嬉野町 2、河芸町 1、 白山町 4、津 市 2、芸濃町 1、
松 阪 21	飯南町 3、飯高町 4、多気町 3、 宮川村 1、松阪市 8、勢和村 1、 大台町 1、
南 志 22	伊勢市 4、玉城町 1、南勢町 2、 大宮町 5、大内山村 5、磯部町 4、 鳥羽市 1、
上 野 30	島ヶ原村 3、上野市 3、名張市 8、 伊賀町 6、大山田村 3、青山町 7、
尾 鷲 1	紀伊長島町 1、
熊 野 7	紀和町 3、御浜町 2、鶯殿村 1、 熊野市 1、
県 外 1	新宮市 1、



○木造地藏菩薩立像（彫刻） 1 軀 松阪市新町884 樹敬寺

森田 利吉委員、松山 鉄夫委員

昭61. 11. 25. 12. 9 調査

1. 概要

右手に錫杖を、左手に宝珠を持つ鎌倉時代通形の地藏菩薩立像で、踏割蓮華座上に直立する。像高83cm。寄木造。彩色。玉眼嵌入。頭部内面の墨書銘に「嘉元三年」（1306）とある。

2. 形状

踏割蓮華座の上に、足を軽く開いて直立する。円頂。白毫相をあらわす。髪際には段差を作らない。法衣を着け、左手屈臂、掌を仰ぎ、第3、第4指を軽く曲げて宝珠を捧げ、右手はゆるく垂下して錫杖を執る。法衣は、下に裳、內衣を着し、上に大衣、袈裟をつける。胸前に內衣の襟をあらわす。

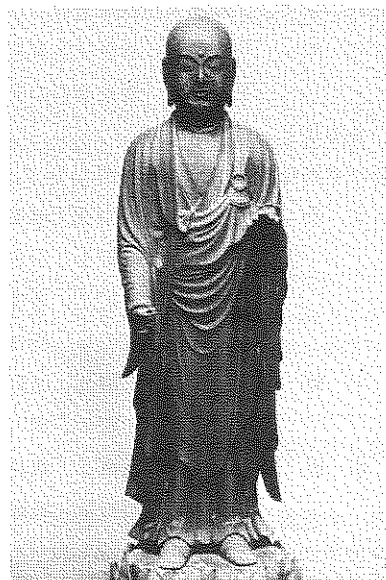
3. 法量

像高 83.0cm。頂～顎(頭長) 15.5cm。面幅 9.5cm。

面奥 12.8cm。頂～胸前下端 27.6cm。

4. 品質構造

ヒノキ材。寄木造。頭部及び胴体部をそれぞれ別造にして結合するが、いずれも前後で材を矧ぎ合わせて、内刳を施し、胴体部はさらに両肩外側部を矧付ける。頭、体の結合は、通例の挿し首状の構造と異り、頭部から胸前に至る前面部分を一材で作し、これに後頭部を合せて(矧目は耳後)、內衣の襟際に嵌めこんでいる。(備考①)玉眼嵌入。脛以下の裳裾部は、概形を一材で作し、(内刳なし)、これに数個の小矧木を加えて形を整え、袈裟の内刳部下方に嵌め込む。持物の宝珠、錫杖(頭部欠失)いずれも木造。



5. 銘記

顔面内部の玉眼の宛木に二行の墨書があり、また、宛木の上下にも若干の文字が認められるが、頸部下端の開口部が狭いため判読できない。宛木にかかれた二行のうち、上方の一行が「嘉元三年」と読めるのみである。嘉元三(四)年は、干支丙午、西暦1306年。これは像の作風が示す年代とよく適合し、造像時の墨書と判断される。

6. 伝来

造像時の事情もその後の経緯もほとんどわからない。ただ、当寺が松ヶ島にあったころ、その境内地に、「踊り地藏」とよばれる地藏堂があり、本像はその本尊であったと伝える。天正年中、寺は現在地に移ったが、本像の移転の時期は定かでない。昭和60年3月30日市指定。

7. 保存状態等

表面の彩色はほとんど剥落して現在は全体に黒色を呈しているが、一部に当初の彩色と文様を残す。ことに垂下する両袖が体側に接する凹状部には、緑錆地に金泥で描いた牡丹唐草などが認められる。構造的には、両脚部下半(脛以下の裳裾部)を近世に補作し、足柄等を新補するが、主要部の保存状態は概ね良好である。後補部にはこのほか、台座、光背、錫杖、宝珠、両手先、両袖口、両足先。

(備考) ① 胸前の襟回りで、頭、体を結合する例としては、奈良薬師寺の善田作地藏菩薩立像(延応2年、1240)や伊勢久昌寺の阿弥陀如来立像がある。

資料 2

○六地藏石幢（工芸） 1基 多気郡明和町笛川2317 齋宮中町区自治会

堀田 吉雄委員、平松 令三委員、古川 真澄委員、森田 利吉委員

昭61. 11. 29 調査

〔形 状〕

総高 194.5cmで、石質は砂岩である。

笠裏には垂木型等なく、笠の一部を欠損している以外は、宝珠、龕部、中台、竿、基礎の5部分は完存し、各部の均整のよくとれている点では、県下の六地藏石幢中非常に優れたものの一つである。

竿石に、別記の刻銘があり、その製作もこれと一致しており、ゆったりとした笠の形、小じんまりとしたしまりのある六地藏尊、中台の時代をよく示す美しい格狭間や蓮弁、すなおな竿石の姿、張りのある基礎の返花など、いずれも室町後期の特色を示す秀作である。

〔由緒・特色〕

齋宮は神領のため、明治初年の神仏分離令によりほとんどの寺院は廃せられた。笛川辺りの中町地藏堂もその時廃寺となり、この石幢のみが漸く昔の面影を残し、笛川地藏堂の古いいわれを物語っている。

県内には多数の室町期以降の六地藏石幢が残るが、これらはすべて燈籠型である。単製六地藏石幢も多少あるが、銘のあるものは少ない。

〔法 量〕 単位：尺



	高さ	巾
・宝珠	0.45	0.55
・笠	0.75	2.3
・龕部	0.9	0.95
・中台	0.6	1.8
・竿	3.07	0.75
・基礎	0.65	1.9
・総高	6.42	
	(194.5cm)	

(別記銘文)

七世父母六観眷属乃至法界平等利益
永正醜卯月日
永春敬白

資料 3

伊奈富神社棟札（古文書） 73枚 鈴鹿市稲生町9275 伊奈富神社

古川 真澄委員、仲見 秀雄委員、平松 令三委員

昭61. 12. 8 調査

【解 説】

この棟札は、大部分が伊奈富神社の大宮、西宮、三大神および菩薩堂などの各社殿の造営又は修理などに伴う棟札であって、これに明治末年当社に合祀された村内諸社の棟札若干が混じっている。そのほとんどが桧板を用い、上端を駒形としたもので、これに建築に関する記録を墨書している。その詳細は別紙調書のとおり。

なお、調書にあげたもののほかに、明治期から現代にいたる棟札が相当数保存されているが、今回はそれらを省略した。

【価 値】

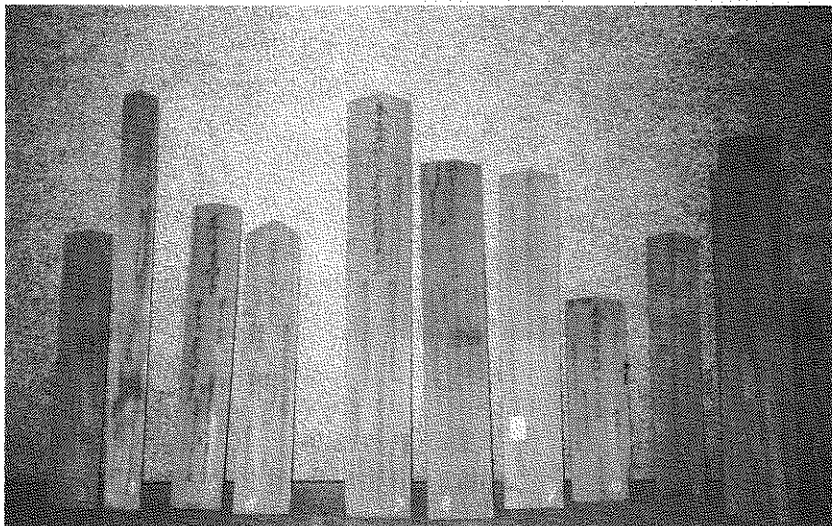
当社の棟札は、三重県下の神社棟札のうちで最も大量なものの1つで、しかも応永15年(1408)を最古とする中世の棟札6枚を含み、且つその記載には、この地域の歴史資料として貴重な内容をもつものがあり、県文化財として指定し、保存に万全を期すべきものと考えられる。

【参 考】

・棟札 32枚 久安5年(1149)~寛政10年(1798)

安芸郡芸濃町雲林院 美濃夜神社

昭和38年1月11日指定 (古文書)



伊奈富神社棟札一覽

(空欄は無記載、()書きは奉納品)

No.	年号	西曆	社殿	内容	願主	大きさ
1	応永15	1408	三大神社	造立		151×12
2	長祿元	1457		上葺	地頭五郎左衛門(石河)	129×21
3	文明16	1484	西之宮	造営	地頭和田清通	97×17
4	天文2	1533	三大神社	造立	地頭(名不明)	143×12
5	" 10	1541		上葺	地頭豊前守源藤蔵ほか	107×17
6	" 16	1588		再興	地頭長野正家	103×19
7	慶長11	1606	稻生大明神	"	長野政勝、分部左京亮	146×23
8	" 13	1608	"、西之宮	"	" "	126×23
9	" 14	1609		"	" "	120×21
10	元和8	1622	稻生八幡	"	鱸 吉常	74×22
11	寛永6	1629	西宮	修理	稻生三郷衆中	97×18
12	" "	"	三大神社	修補	"	121×26
13	" 7	1630	稻生大明神	"	三郷衆中	134×21
14	明暦2	1656	三大神社	"	惣氏子中	122×19
15	" "	"	西宮	上葺	"	59×11
16	寛文10	1670	三大神	"	"	84×12
17	延宝2	1674	西宮	"	"	92×14
18	" "	"	大宮、宝殿	"	"	74×12
19	元祿12	1699	三社神楽所	造営	材木屋久兵衛(江戸)	37×10
20	元文元	1736	一宮豊御崎神社	再興	惣氏子中	36×17
21	宝永2	1705	八幡宮、神殿	修補	氏子中	91×15
22	" "	"	稻生西宮、神殿	"	"	91×21
23	" "	"	稻生大明神神拝殿	"	"	91×15
24	" "	"	稻生三大神宮神殿	"	"	91×21
25	" "	"	石壇	新造	達宗、小野忠兵衛	66×17
26	" 3	1706	(脇差)	進納	伊達宗次	165×30
27	正徳元	1711	稻生大宮寶殿	修補	氏子中	146×19
28	享保2	1717	(獅子之鉾)	寄進	江戸講中	58×11
29	" 6	1721	(鉾)	"	磯部喜右衛門ほか	94×23
30	" 12	1727	(綺帳)	"	鈴木喜兵衛	61×12
31	" "	"	"	"	坂崎徳兵衛	62×12
32	" "	"	神輿仮殿	造立		62×12
33	" 20	1735	(安鎮札)		徳川宗直(和歌山藩主)	62×19
34	" "	"	西宮	造営	"	109×16
35	" 21	1736	三大神之社	"	"	108×16
36	" "	"	(安鎮札)		"	62×12
37	元文元	"	稻生三社ほか	造営	"	169×32
38	" "	"	(安鎮)		"	72×13

No.	年号	西曆	社殿	内容	願主	大きさ
39	宝暦2	1752	三大神御社	上葺	産子中	72×15
40	" 3	1753	大宮	"	"	76×13
41	" 6	1756	西宮	"	"	94×16
42	" 9	1759	三社遙拝所	修造	"	71×14
43	明和6	1769	菩薩堂	修覆	鈴木又四郎(西村庄屋)ほか	45×15
44	安永6	1777	三大神神殿	上葺		66×14
45	享和4	1804	大宮	"	産子中	87×17
46	文化9	1812	(大乘妙典)			45×10
47	文政5	1822	菩薩堂屋根	修覆	稻生三郷氏子中	49×17
48	" "	"	西宮	上棟		77×15
49	" 11	1828	三太神大社	葺替		90×16
50	天保2	1831	東国岡神社	"	三郷惣氏中子	37×11
50裏	" "	"	"	"	産子中	
51	" "	"	西御宮	上葺	三郷氏中子	91×16
52	" 3	1832	本宮前鳥居	造営		59×11
53	" 9	1838	神鍬獅子神	"	鈴木五左衛門	92×20
54	" "	"	本宮拝殿	"	平田宇八、鈴木吉左衛門	59×15
55	" "	"	本社大宮 神輿殿	棟替 葺替 再興	稻生三郷惣産子中	71×18
56	" "	"	一宮豊御崎神社	葺替 棟再興	鈴木吉左衛門、鈴木理左衛門	71×16
57	" "	"		上葺		21×17
58	嘉永4	1851	大宮	作替		77×21
59	" "	"	本宮大宮 神楽殿	屋根替 再興	三郷産子中	105×25
60	明治3	1870	三大神社	遷宮		125×22
61	" 4	1871	西宮 神殿	造営		121×21
62	" "	"	本社三之大鳥居	"	三郷惣産子中	101×17
63	宝永7	1707	神明宮	"	野村氏子中	30×9
64	寛政8	1796	八幡武大神宮	再興	稻生三郷産子中	62×15
65	享和3	1803	神明宮	修覆	野村氏子中	30×9
66	文化元	1804	勝手大明神	造立	惣氏子中	39×11
67	" 13	1816	左八幡武大神宮	上葺	稻生三郷氏子中	59×15
68	天保4	1833	天満宮稻荷大明神	造営	清水勝富(野村)	36×9
69	" 8	1837	(弓矢)	奉納	" ほか	32×9
70	弘化2	1845	雨負	造営	北町氏子中	31×10
71	文久3	1863	八幡宮	葺替	惣氏子中	76×14
72	明治3	1870	八王寺神社鳥居	遷宮	北町惣氏子中	47×12
73	" "	"	塩屋八柱神社鳥居	再建	氏子中	47×10

資料 4

○大淀村二天八王子社神事頭番帳 1巻 多気郡明和町大淀乙1 竹大与杼神社

堀田 吉雄委員、平松 令三委員、古川 真澄委員

昭61. 11. 29 調査

1. 概 要

この神事頭番帳は、93通の竹大与杼神社の御頭神事の頭番記録を1巻に纏めたものである。縦26cm、横34cmの文書から、年号だけ1行3cmのものまで、まちまちで、文書のみ延長は25m余りに及び、全体は30mに近く、別の文書が紛れ込んだ形跡もある。文書は全体として、書き出しの「大淀村」「二天八王子社神事頭番帳」の文字は、本文の願文とは異筆が多く、人名も同様で、1紙に何人かの筆が入っている。特に最も古い応永31年(1424)文書は近世の補写と思われる。

2. 神社の由来

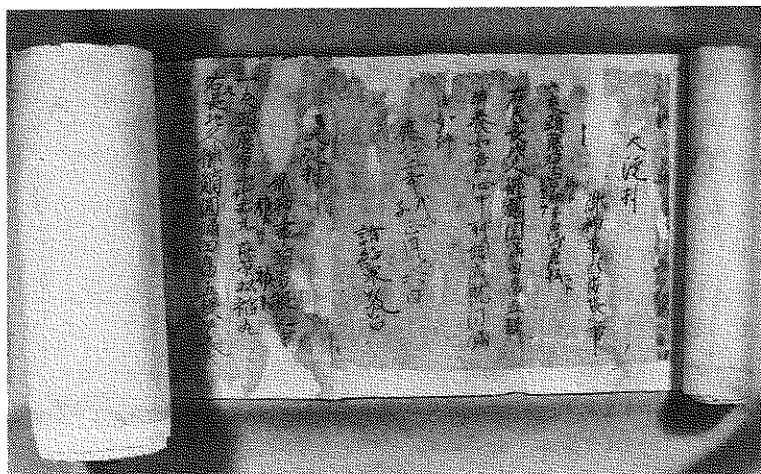
この頭番帳の所在地は上記のとおりであるが、明治10年の神社明細帳では「三重県伊勢国^{第五区多気郡中大淀村}_{第二区度会郡中郡村}入会字大与度」とあり、両郡の入会地であり、本殿の所在地が旧中郡村、現明和町大淀乙で、他の区域は旧大淀村即ち、現明和町大淀甲に属する。従ってこの両地区が氏子区域で、明治10年では、中大淀村は188戸が氏子で、中郡村は記載がないが、元禄の郷帳では、中大淀の半分であるから、この方は約90戸と思われる。

当社は、現在延喜式神名帳に所載のとおり、竹大与杼神社と称されているが、御巫清直の伊勢式内神社検録には、「今大淀村ノ辺度会多気両郡ノ堺ニ二天八王子ト称スル祠アリ、村老余ニ示シテ云ク是ノ祠古ハ大淀社ト称セリ今ハ社号ヲ呼人ナシ」と記している。

3. 内 容

その二天八王寺社の御頭神事奉仕の頭人の種数、人名を記し、ついで郷中繁昌五穀成就、養蚕牛馬安全の願文を書き、これ等を取り仕切る結衆の存在を示したものがこの文書の内容である。

氏子区域が二村に亘る処から、例祭日が1月11日(神社明細帳)であるので、これに先立ち来年度の頭人を差定めるのに2人が基本と思われるが、中大淀村は三世古に分かれる処から、村の繁栄した時には、計4組の頭人が差定められた形跡が見える。頭人は、生涯何度も勤めた場合もあり、頭番帳の附記には、初度、二度、三度の文字が見られる。初度、初頭は初めて頭を勤めたと思われるが、初番、二番頭、三頭とあるのは、



同人が二度、三度勤めたのか、或は、初頭は一年間勤め、以下は、半年又は三月と短期間勤めたのかとも思われるが確証はない。

頭人に、小松若丸、千代福丸の幼名と思われるものが見られ、衛門、太夫成りの名前も散見し、頭人は姓を称する特徴があり、藤原、紀、源、白山、新家、大中臣が見られ、殿の敬称の付けられたものもある。この頭役奉仕者は、村で特別の待遇を受けているか、又は、有力者であったと思われる。

4. 価 値

応永31年(1424)から天正8年(1580)の~~1580~~¹⁵⁸⁰の~~156~~¹⁵⁶年に及ぶ中世記録は、ただに御頭神事記録のみではなく、中世村落組織の内て結衆の組織があり、農耕生活にあつて養蚕牛馬飼育にまで及んでいることを示す好資料である。

先に指定を受けた、津田神社(多気町井内林)の神事当番帳に比較して、3年古く、12年延長された記録であるので、指定に値すると思われる。

[参 考]

- (1) 神事頭番帳 1巻(146通) 応永34年(1427)～元龜3年(1572)
多気郡多気町井内林 津田神社 昭和31年12月5日指定(古文書)
- (2) 柏尾番頭帳 167通 天正13年(1585)～明治32年
名賀郡青山町柏尾 柏尾区 昭和48年3月31日指定(有形民俗文化財)

大 淀 二 天 八 王 子 社 神 事 頭 番 帳 一 覧

No.	年 号	西 曆	願 文 (天長地久等省略)	寸 法 (cm)
1	応永31. 正. 2	1424	郷中安全	23×26
2	長祿4. 正. 2	1460	田畠五穀、蚕養	31.5×26.5
3	応仁2. 正. 6	1468	" "	26×23.5
4	" 3. 正. 2	1469	" "	31.2×26.3
5	文明2. 正. 2	1470	" "	24.5×25.5
6	" " "	"	" "	33.8×26.5
7	" 8. 正. 2	1476	" "	33.0×26.5
8	" 10. 正. 6	1478	" "	32.2×26.3
9	" 11. 一. 一	1479	" "	26.2×25.8
10	(年欠)		(書き出しだけ)	9.5×26
11	文明12. 正. 6	1480	田畠五穀、蚕養	25×26.5
12	" 13. 正. 6	1481	" "	27.8×26.5
13	" 14. 一. 一	1482	(年記だけ)	3.0×14.5
14	" 16. 正. 2	1484	田畠五穀、蚕養	24.5×26.5
15	延徳4. 正. 2	1492	" " 郷内安穩	30.4×26
16	" 正. 6	"	蚕養	32×26
17	明応6. 正. 6	1497	田畠五穀、郷内安穩	24.8×25.2
18	" 8. 正. 2	1499	五穀成就	29×26

No.	年 号	西 曆	願 文 (天長地久等省略)	寸 法 (cm)
19	明応 8. 正. 6	1499		25×26
20	" 9. 正. 2	1500	五穀成就	23.8×26
21	" 10. 正. 6	1501		29.1×27
22	" . 正. 吉日	"		27.2×25.8
23	文亀 2. 正. 2	1502	五穀成就	31×26.8
24	" . 正. 6	"	郷内平安、五穀繁昌	35.2×25.2
25	" 3. 正. 2	1503	五穀成就	29.5×26.7
26	" . 正. 6	"	郷内平安、五穀繁昌	29.8×26.8
27	" 4. 正. 2	1504	" "	28×25.8
28	永正 3. 一. 一	1506		23×23
29	" 16. 正. 2	1519	郷内泰平、五穀成就	34×23.2
30	" 10. 正. 6	1513	" "	31.5×25.8
31	" 8. 正. 6	1511	" "	25×24
32	" 11. 一. 一	1514	(永正11. □. 15年頭人書上げ)	20.2×25.5
33	" 17. 正. 6	1520	郷内安穩、五穀成就	25×24.5
34	大永 2. 正. 2	1522	郷内泰平	29.5×25.9
35	" 4. 11. 吉日	1524	郷内安穩、五穀成就	31×26.2
36	" 6. 正. 6	1526	" "	27×26.1
37	" 7. 正. 2	1527	" "	23.5×23.5
38	" . 正. 6	"	" "	31×26.2
39	享祿 2. 正. 2	1529	" "	29.6×26.2
40	" 4. 正. 6	1531		29.5×26.3
41	" 3. 正. 2	1530	郷内安穩、五穀成就	30.1×26
42	(年欠)		(願文だけ)	17.3×26
43	享祿 3. 正. 6	1529	郷内安穩、五穀成就	15.5×26
44	天文 2. 正. 2	1533		29.8×26
45	" 3. 正. 2	1534		31.2×25.5
46	" . 正. 6	"		31.9×25.7
47	" . 11. 吉日	"	(願文なし)	23.7×22.4
48	" 4. 正. 6	1535		28×26
49	" 5. 正. 2	1536		29.3×26
50	" 6. 正. 2	1537		28.9×26.4
51	" 6. 正. 6	"		29.8×26
52	" 7. 正. 2	1538		29.4×23
53	" 8. 正. 6	1539		29.8×26
54	" 9. 正. 2	1540		31×22.8
55	" 10. 正. 6	1541		28×26
56	" 11. 正. 2	1542	郷内安全	31.7×26.5
57	" 12. 正. 6	1543	一天泰平、国土安穩	30×25.8
58	" 13. 正. 2	1544		29.5×26.3

No.	年 号	西 曆	願 文	寸 法(cm)
59	天文13. 正. 6	1544	五穀成就、一天泰平、国土	29.9×26.3
60	" 14. 12. 28	1545		28.6×26.5
61	" . 正. 2	"		27.7×26.3
62	" 15. 3. 吉日	1546	郷内安穩	30×26.1
63	" 16. 正. 2	1547	"	29.5×26
64	" . 正. 6	"	"	28.4×25.9
65	" 17. 正. 2	1548	" . 五穀成就	23.5×26.2
66	" . 正. 6	"	郷内安全	28.8×26.4
67	" 18. 正. 6	1549	郷内安穩、子孫繁、五穀成就	28.7×25.5
68	" 19. 正. 2	1550	"	29.7×19.4
69	" 20. 正. 2	1551	"	28×25.9
70	" . 正. 6	"	"	28.8×25.9
71	" 21. 正. 2	1552	"	29.4×26
72	" . 正. 6	"	"	29.9×25.6
73	永禄元. 正. 2	1558	五穀成就、郷内安全	30.5×25.7
74	" 2. 正. 2	1559	"	29.3×26.2
75	" 3. 正. 6	1560		31×26.4
76	" . 11. 2	"		27.3×26
77	" 5. 正. 2	1562	郷内安穩、五穀成就	23×26
78	" 6. 正. 6	1563		31×26
79	" 10. 正. 2	1567	郷内繁昌	21.2×25.4
80	" 11. 正. 2	1568	"	27×25.8
81	" 13. 正. 2	1570	"	28.3×25.8
82	元龜2. 正. 2	1571		28.6×26.2
83	" " "	"	郷内繁昌	27×25.6
84	" 3. 正. 2	1572	"	26.3×25.7
85	" . 正. 6	"	郷内安全、子孫繁昌	29.5×25.7
86	" 4. 正. 6		" . 五穀豊作、子孫長久	22.8×25
87	" 5. 正. 6		郷内繁昌、牛馬安穩	23.5×25.8
88	" 6. 正. 6	1575	"	28.7×25.8
89	天正2. 正. 2	1574	" . 牛馬安全	31.5×25.2
90	" . 正. 6	"	郷内安全、五穀成就	22.8×25.7
91	" 7. 正. 2	1579	郷内繁昌、牛馬安全、五穀成就	31.8×26
92	" . 正. 6	"	" "	19×25.6
93	" 8. 正. 2	1580	郷内安全、牛馬安穩、五穀成就	28×25.8

全長 25.32m

県内の指定・選定文化財（昭和62年4月1日）

区分	有形										無形		民俗		史跡・名勝・天然記念物										選定	計		
	国宝		重要文化財								芸術能	工芸技術	有形形	無形形	特別史跡	特別名勝及び	特別天然記念物	史跡	名勝	名勝及び史跡	史跡及び名勝	天然記念物	天然記念物及び	天然記念物			天然記念物及び	伝統的建造物群
	古文書類	考古資料	建造物	絵画	彫刻	工芸品	古文書類	考古資料	歴史資料																			
国指定	3	1	14	17	60	17	32	6	3		2	1	3	1	1	2	27	2	1	20			1	1	215			
県指定			26	24	69	43	47	9		1		17	30				62	9		2	73	1		413				
市町村定			78	64	156	141	136	29	9	3	5	50	69				146	6			59			1	952			
計	4		118	105	285	201	215	44	12	4	7	68	102	1	1	2	235	17	1	2	152	1	1	2	1,580			

文化財保護事業

（表紙・国指定文化財）

（裏表紙・県指定文化財）

専修寺如来堂 （保存修理）		専修寺御影堂 （防災施設）	
正法寺山荘跡 （保存修理）		金生水沼沢 植物群落 （天然記念物保護増殖）	
金剛証寺本堂 （保存修理）	カモシカ 食害対策 （保存対策）	観菩提寺楼門 （指定文化財管理）	
関町関宿重要伝統的 建造物群保存地区 （保存修理）		上野城跡 （保存修理）	

仏土寺木造日光菩薩 像 （上野市東高倉）	
白山比咩神社本殿 （白山町川口）	

